



写真がカラーで見られる駒小ブログはこちら→



太田市立駒形小学校学校だより 令和7年度 第7号(R7. 6. 12)

林間学校の思い出

校長 平形 公宏

6月に入り駒形小学校では、高学年の宿泊行事が続いています。親元を離れ、先生と友だちだけで過ごす2日間は、子どもたちにとって今までにない発見があったことでしょう。今回は5年生の林間学校の思い出を児童の作文を通して振り返りたいと思います。

「林間学校の思い出」

私達は6月2日と3日に林間学校に行き、初めての経験などをしました。

登山は4年か5年ぶりに登り、あの時は大変ではなかったのに、今回は、あせにまみれながらグループの子達とけわしい道を協力しながら登れたと思います。反省点は体力がもたなかったことです。なのでもっと体をきたえたいと思いました。



スプーン作りは班のみんなに「これいいと思う?」とか、「上手だね。」とか言いながらスプーン作りができたことがいいと思いました。

キャンプファイヤーは、林間学校生活で一番楽しかったことです。なぜなら、他の学年の先生やたいにんした先生など、いろいろな先生がきてくれて、もりあがったことはうれしいけれど、反省点があり、ダンスはテンポがあっていなかったり歌う時声が小さかったりしたことを反省しています。



食事と入浴は食事は残さず食べられたけれど、他の人で残している人がいて私は残すことを少しだけ少なくしたいです。そして入浴はドライヤーがないので「カゼをひかないかな〜。」とか思っていたけれど、元気に二日目もすごせてよかったです。

係活動は、みんなを静かにさせることが一番大変でした。代表あいさつをする時、初めてでどのように言えばよいか分からなかったけれど、自分がみんなに伝えたいことを伝えられればいいなと思っていました。この二日間は一分ほどに感じました。また林間生活をやりたと思いました。

「林間学校のふり振り返り」

6月2日、3日林間学校に行きました。主に6つの活動をしました。

登山では、立岩コースがとてもけわしくて、大変でした。でも、友達と手を取り合ってゴールができてうれしかったです。今までの体験でこれ以上のつかれる体験はないと思うので、思い出になりました。

クラフト(スプーン作り)では、自分だけ、世界でたった一つ



だけのマイスプーンを作ることができました。そのスプーンを見ると、その時の思い出がふり返れるマイスプーンができました。

キャンプファイヤーでは、一番楽しみにしていたけれど、頭がいたくてげんかいで、おどったり歌ったりがむずかしかったです。こんなチャンスは二度とないと思うのでとてもこ
うかいしました。

食事では、食事係が協力して、用意してくれた食事はおいしかったです。



野外炊飯(カレー作り)では、班と協力して、おいしいカレーができました。にんじんや玉ねぎなど野菜をうすく切らないと火がとおりづらいので切ることが難しかったです。

係活動では、同じ係の人と分たんしてみんなの状態やふとんのしき方などをかくにんすることができました。課題はふとんのしき方をもっとわかりやすいように説明できるようにしたいです。その課題を次に生かしたいです。

次は6年生のしゅうがく旅行です。今回の経験を生かして楽しめたらなと思います。



行事を通して、普段とは違う友達の一面を知ることができたことと思います。また、家族の大切さも改めて感じたことでしょう。5年生はこの林間学校を通して、協力することの大切さ、やり遂げた時の達成感や充実感を存分に感じたことでしょう。



5年生は一年後修学旅行に行きます。修学旅行では群馬県から離れた県外で先生と友達だけで過ごします。普段見られない史跡や博物館等の見学をすることができます。そして、一番の楽しみは自分たちで計画を立てて見知らぬ街を散策することでしょう。ワクワク、ドキドキの連続でしょう。今回一人一人が感じた課題点を修正することで、更に楽しい修学旅行になるでしょう。

田植えの様子

